



雪中だより

令和七年 四月八日 発行

大田区立雪谷中学校

校長 柳 歓子

春風爽快

校長 柳 歓子

友だちと協力し合って、てきぱきと活動し、自分たちで考え、工夫しながら仕事に取り組む姿に、二、三年生の成長が感じられます。

四月の始まりは雨でしたが、冬のような寒さから一転、暖かな日差しがあふれ、校舎の窓から、桜の花びらが春の風に乗って舞い込んできます。

雪谷中学校の校舎は、手を伸ばせば届きそうなところに呑川沿いの桜が咲き誇り、毎年、明るく清々しい空気の中、新しい年度が始まります。

雪谷中学校は、今年度一二二名の新入生を迎え、令和七年度をスタートしました。

始業式では、新二年生、新三年生が立派な態度で式に臨み、とても頼もしく感じました。

上級生には、新入生を温かく迎え、模範となり、ともに楽しく充実した学校生活を創り上げてほしいと願っています。

始業式後、二、三年生は、入学式の会場設営や会場付近の美化活動、祝電の掲示など、入学してくる一年生のために、一生懸命に準備に取り組んでくれました。

昨年度、雪谷中学校は大田区教育委員会研究協力校として研究発表会を行い、区内小中学校の先生方が多数、本校の授業を参観されました。

「生徒が生き生きと活動している」「友達と積極的に意見を交換して学びを深めている」「自分で考え、工夫して、主体的に学習に取り組んでいる」など、雪中生を褒める言葉を多数いただき、大変嬉しく思いました。これからも雪中生がたくましく成長し、自分の良いところを伸ばしていくことができることを願っています。

雪谷中学校では、前向きに学校生活に取り組む生徒たち、熱心な教職員、温かく学校を支えてくださる保護者、地域の皆様に恵まれ、日々の教育活動を充実させることができています。

特に、生徒会活動や学年レクなど、生徒たちが自分で考えた企画や自主的な活動が活発に行われ、それを教職員や保護者の皆様がしっかりサポートして実現させていく取り組みは、雪谷中学校の素晴らしい特色であると思います。

雪谷中学校は令和五年度から「コミュニティ・スクール」の指定を受け、保護者の皆様や地域の皆様のご意見、ご協力をいただきながら、学校教育をより充実させる取り組みを行っています。

昨年度も、生徒会と学校運営協議会のコラボによる「雪中祭り」を実施し、地域の方々の協力を得ながら、実行委員会を中心とした生徒たちが自分たちで企画・運営を行い、いきいきと活動することができました。

雪谷中学校では、これからも生徒の皆さんが様々な学習や体験を通して、社会性を育むとともに、自分らしさや自分の良さを伸ばしていけるよう、取り組んでいきたいと思っております。

中学校の三年間は人間が心身ともに大きく変化する時期であり、一人一人の生徒の、その時々状況の中では、様々な悩みや困難が生まれることがあります。

雪谷中学校のすべての生徒たちが、自己の課題を乗り越え、大きく成長できるよう、学校は生徒一人一人に寄り添い、保護者の皆様、地域の皆様方と連携しながら、「チーム雪谷」として全力で生徒を支援していきます。

今年度も温かいご理解、ご支援を、よろしく願っています。

